

JForest

森林組合だより

平成28年
11月30日 発行
第111号



組合まつり(チェーンソーアート会場)

本荘由利森林組合
由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



第11回

森林組合まつり開催

10月16日(日)、西目の製材工場「木香里」敷地内において、第11回森林組合まつりを開催しました。この森林組合まつりは、森林組合の活動を広く一般の方に知っていただくために平成18年に始まったイベントです。

開会に先立ち、小松組合長から開会の挨拶があり、組合員や地域の皆様へ、日頃の感謝の言葉を述べました。開会後にはブルーベリーの苗木を、ご来場いただいた先着300名の方々にお配りいたしました。

場内には、様々なブースをつくり、ご来場いただいた皆様楽しんでいただいたり、林業を知っていただくための催しを企画しました。ウッドバーニングや丸太積み、丸太切りなど、直接木に触れていただき、木のぬくもりを感じていただけたらと考えています。

組合の他にも、秋田マッカラ様、みどり商事様、Aコープ様、ゆり養護学校様のブースもあり、組合まつりをより盛り上げていただきました。特に、秋田マッカラ様、みどり商事様による実演会では、実際に安全長靴をチェーンソーで切り、どの程度の耐久性があるか、長靴4種の切比べが行われました。

毎年恒例となりました大抽選会では、昨年に続き当選する方や、1家族で2品当選するなど大盛り上がりの中でまつりを締めくくりました。



組合員技術講習会

10月25日(火) 西目町のシーガルと、秋田市向浜のユナイテッドリニューアブルエナジー㈱バイオマス発電工場を会場に、平成28年度組合員技術講習会を行いました。

西目町のシーガルでは、ユナイテッドリニューアブルエナジー㈱の三好創氏を講師にお招きし、平成28年7月に竣工を終えたばかりの施設、バイオマス発電についてDVDの映像を交え、説明をしていただきました。また、秋田市向浜の施設では、場内の見学もさせていただき、トラックダンパーや、乾燥設備、冷却塔などを見る事ができました。

今年度の参加者は約200人にもなり、組合員のバイオマス発電への関心の高さが伺えました。



ユナイテッドリニューアブルエナジー(株)三好氏による施設、概要説明



「木香里」～きこり～

西目町にある、製材工場の愛称は「きこり」です。加工部門の製材工場「木香里」の仕事の内容についてご紹介します。

組合員の皆さまからお預かりした大切な原木は、製材工場加工され、住宅用の柱や集成材用のラミナ等のほか、土木用資材の土留め板や冬囲いなどに使う板類など様々な製品を作っています。

また、製材の過程で出る「おが粉」は家畜の敷料として利用されているほか、「チップ」は製紙工場に生まれ変わるなど、捨てることなく多方面に活用されています。

一昨年導入しました、高速製材機械の、ツインバンドソーは、これまでの約2倍の生産力を持ち、同時に購入したウイング車で、県内外の市場へたくさんの秋田杉を届けることを可能としました。

毎年10月には、製材工場、流通センター敷地内で「森林組合まつり」が盛大に行われ、組合員や、地域の皆様に楽しんでいただいております。来年もまた、たくさん遊びに来ていただきたいと心待ちにしております。 加工課職員一同



【H27.2導入 ツインバンドソー】



製材工場「木香里」

由利本荘市西目町沼田字新道下1020-1
TEL.0184-32-1080
FAX.0184-32-1081



森づくりのワンポイント

(広葉樹施業の基礎 3回目)

第8回

幼齢期における主な病虫獣害について

広葉樹は、「植栽から根が張るまでの5年程度が勝負」です。そのためには、前号掲載した植栽方法や適地適木に留意することが必要です。また、この時期は、気象害や病虫害などの被害を受けやすい時期でもあり、注意しながら保育することが大切です。

今回は、幼齢期にかかりやすい、主な病虫獣害についてご紹介します。

なお、今回、掲載の写真は「秋田県林業研究研修センター」（秋田市河辺）から、ご提供いただきました。

1. 主な被害

(1) 「獣類」による被害 (写真①～③)

- ◇写真①・・・ノウサギによる樹皮の摂食（樹皮を食べる）
- ◇写真②・・・カモシカによる角こすり
- ◇写真③・・・ノネズミによる根の被害

(2) 「害虫」による被害 (写真④)

- ◇写真④・・・コウモリガの穿孔被害（木の中に産卵、幼虫が食害）
(※3～5年生のスギや広葉樹が、ぽつん、ぽつんと枯れる
根元に木くずがでてくる等)

(3) 「雪や寒さ」などによる気象害 (写真⑤～⑥)

- ◇写真⑤・・・晩霜害（春の生長開始後の寒さにより、枝先が枯れる）
(※逆に、秋の突然の寒さより生じる被害は、早霜害と呼ぶ)
- ◇写真⑥・・・雪害による幹の折れ曲がり

2. 留意事項

- *コウモリガによる被害は、木の中の幼虫と腐朽菌によるものです。
木くずの出ているところに「穴」があるので、キンチョール等を噴霧すると効果的です。
- *ノネズミやコウモリガによる被害は、根に与える影響が大きいため、枯損率も高くなります。（30%程度）
- *ノウサギの被害は、通常、木の先端部がカットされます。予防には忌避剤（ヤシマアンレス等）やトタン等を巻くことも有効です。
ノネズミは、根元から食害します。予防は、殺鼠剤（リン化亜鉛剤、タリウム等）があります。
- *ノウサギの被害は、根がしっかりしている場合は、食害点の下で、カットして仕立てるようにします。
- *雪による幹の折れや曲がりは、支柱等である程度防ぐことができますが、支柱とともに折れたりして、逆効果となる場合があります。
5年程度経過して、完全に活着（根が張ること）してから、徐々に整枝等をして樹型をととのえます。
- *特に、コウモリガの被害防除には、根元をきれいに保つことが大切です。そのためには、下刈りが効果的ですが、下刈りは、植栽木が、雑草木の高さの1.5倍以上になることを目安にします。

広葉樹植栽幼齢木に見られる諸被害



①ノウサギによる樹皮摂食
(ケヤキ)



②カモシカによる角こすり
(ホオノキ)



③ノネズミによる根の被害
(ミズナラ)



④コウモリガの穿孔被害
(ブナ)



⑤晩霜被害
(ブナ)



⑥雪害による幹の折れ曲がり
(ケヤキ)

木材市況情報 (平成28年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	9月2日			10月4日			11月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		16~22	(2,300) 8,280	(2,253) 8,111	(2,281) 8,213	(2,401) 8,644	(2,357) 8,484	(2,373) 8,544	(2,465) 8,874	(2,416) 8,696	(2,443) 8,794
		24~34	(3,100) 11,160	(3,001) 10,802	(3,021) 10,876	(3,203) 11,532	(3,051) 10,982	(3,099) 11,158	(3,402) 12,248	(3,139) 11,300	(3,223) 11,602
出材量・販売量・販売率			591m ³ (2,128石)・532m ³ (1,915石)・90%			800m ³ (2,880石)・800m ³ (2,880石)・100%			818m ³ (2,945石)・818m ³ (2,945石)・100%		

9月：やや材質の劣る巻立が2口残った以外は完売。山形県、新潟県の業者が量をまとめた。単価は横バイ。
10月：曲がり材も含め全径級とも引き合いが戻り完売。単価も強含み横ばいといったところで、先月よりやや上昇。
11月：山形県勢が参加し、強含みで完売。24~34cmが11,500円/m³前後、16~22cmが8,800円/m³前後。来月もこの傾向は続き、強含みとなりそう。

ゆり養護学校の 生徒が木工実習

10月から、ゆり養護学校生が当組合へ定期実習に来ました。

実習場所は西目製材工場です。組合まつりの、ウッドバーニングで使用した木の板の制作や、モルダーによる製品のカンナ掛けを行いました。

「場内は様々な機械、重機があります。安全第一を心がけて作業したい。」と意気込んでいました。



開会当初は雨天の心配もされましたが、作業をしていると日がさすようになり、絶好のボランティア日和となりました。

10月29日に本荘マリーナオートキャンプ場と、金浦の「はまなす」向いで落葉除去のボランティア作業が行われました。

松林健全化ボランティア



総務課からのお知らせ

《賦課金》

7月末日の納付期限となっておりますが、まだ未納の方がおります。各支所、又はお近くの金融機関で納付下さいませようお願いします。

《変更届》

住所・所在地及び団体代表者の変更や相続があった場合は、本所・各支所に備え付けてあります届出用紙に記載のうえ提出してください。届出がない場合亡くなった方のお名前でも郵便物が届いてしまいます。ご協力の程よろしく申し上げます。

